

男女共生社会推進センター

# りいぶる

～男女共生社会づくり～

最優秀賞

村上しおりさん(田辺市立富里小学校3年)



## 男女共同参画啓発ポスター入賞作品決定

### 優秀賞のみなさん

山本 和輝 さん(和歌山市立雄湊小学校6年)  
関野 利沙 さん(和歌山市立雑賀小学校4年)  
大串 優羽 さん(岩出市立根来小学校2年)  
前田 智美 さん(和歌山市立雄湊小学校1年)  
田中 久美子さん(有田川町立八幡中学校3年)  
西條 千晴 さん(和歌山市立東中学校2年)  
栗本 愛 さん(和歌山県立星林高等学校1年)  
福本 ツヤ子さん(社会人)

田口 直豊 さん(和歌山市立安原小学校6年)  
澤辺 美寿々さん(田辺市立富里小学校3年)  
牧野 見咲 さん(岩出市立根来小学校2年)  
上田 あおいさん(海南市立東海南中学校3年)  
大江 志織 さん(有田川町立八幡中学校3年)  
寺田 望 さん(和歌山県立和歌山高等学校2年)  
米澤 優貴 さん(和歌山県立星林高等学校1年)

## CONTENTS

「特集」

- 1 2 りいぶる 10周年記念事業
- 3 4 りいぶるフェスタ2008
- 5 講座レポート
- 6 地域のおと / 参画課いんふおめーしょん
- 7 講座案内 / 相談室から

応募総数165作品の中から選考の結果、最優秀賞1点、優秀賞15点を決定しました。応募のあった全作品を、和歌山バス(株)の協力を得て、路線バス車内へ順次展示します。

展示路線 和歌山市駅～JR和歌山駅間のシャトルバス6台  
展示期間 平成20年12月～平成21年3月  
展示方法 1台につき8作品を車窓に展示、  
1ヶ月毎に作品入替  
(毎月25日頃に入替します)



この冊子には、音声コードが、各ページ下に印刷されています。

# りいぶる 10周年記念事業

りいぶるでつながる ～ひと・未来・男女共同参画～

“りいぶる”は平成10年12月に、県女性センターとして、女性が社会のあらゆる分野に参画することを支援する施設として開設されました。また、県民の皆さまに親しんでいただけるよう愛称を募集し、応募の中からフランス語の「自由な」という意味の「りいぶる」と決まりました。そして、平成13年4月に、男女共同参画実現のための様々な活動と交流の拠点として、県女性センターの名称を現在の男女共生社会推進センターに改称しました。

今年度で、“りいぶる”は設立10周年を迎えました。これを記念し、10月14日(火)から、10月18日(土)までの5日間にわたり講演、講座、体験、シネマなど、さまざまな催しを実施し、延べ855名の方にご参加いただきました。

10月14日

## オープニングイベント

フォルクローレデュオ“ヤラビ”  
によるミニコンサート



「明日の私のために今の自分と向き合う講座」

“大切な私のためにできること”  
講師 椿本玲子さんによるワークショップ

10月15日

## プチネイル、ハンドマッサージ

講師 小川友子さん



## こけだまづくり

園芸福祉士 荒木 伸一さん  
小池阿弥子さん

## 押し花体験

講師 山口由佳さん



10月16日



## 講座「防災を考える ～そのとき女性は～」

講師 小松太賀雄さん



## ビーズアクセサリーづくり

講師 西端千秋さん



## アコーディオン製本

講師 たあつこ = かおりさん



10月17日

りいぶるマーケット



くじら共同作業所 和歌山友の会  
かたつむりの店舗

10月18日

豆絵本づくり

講師 たあつこ = かおりさん



講座「県内企業と語ろう 男女共同参画」  
就活事始〜話そう!仕事・知ろう!企業〜



10月14日~17日

りいぶるカフェ

ハーブを楽しむ会  
和歌山友の会  
セルクルヴェルジェ  
くじら共同作業所



りいぶるシネマ

テーマ “彼女の一生”



「折り梅」  
「僕のボーガス」  
「ユキエ」  
「ハッピーを探して」  
など10作品

## ◆◆◆ 住田裕子弁護士記念講演とパネルディスカッション ◆◆◆

### 「もう十分?それともまだまだ?男女共同参画」

最終日の18日には、メインイベントの記念講演会が開催されました。

オープニングは子どもミュージカルグループ“トロピカルセルバ”の歌とパフォーマンスが披露され、子どもたちの可愛らしさに思わず会場に笑みがこぼれました。

続いて、住田裕子弁護士にご講演いただきました。女性に厳しかった昔



の就職事情のことや、子育てと仕事を如何に両立してきたか、などのお話があり、また、テレビ出演時のエピソードを交えながらのとても楽しい講演となりました。「日本にはまだまだ固定的な役割分担意識が残っている。これからの社会には、多様性が必要で、女性がもっと参画しないといけない」と話されました。

後半はパネルディスカッションが開かれました。パネラーからは、「男女共同参画は漠然と浸透してきているが、企業への啓発など、具体的に行動していく事が必要だ」という意見などが出されたり、「男女共同参画社会は家庭、企業、地域にも良い効果をもたらす。女性だけでなく男性にとっても生きやすい社会だ」ということが話されました。

#### 「パネルディスカッション」

コーディネーター 金川めぐみさん  
(和歌山大学経済学部准教授)

助言者 住田 裕子さん

パネラー

前田効多郎さん(株れもんケア取締役会長)  
村山 淳子さん(アジアンカフェじょんのび経営)  
森 敏郎さん(行政職員)  
神徳 佳子(りいぶるの所長)



## テーマ「考えよう！男女共同参画～一人ひとりができること～」

今年の「りいぶるフェスタ2008」は、様々なイベントを通じて“男女共同参画”を身近なものとして考えていただくことを目的に開催しました。

### 玉岡かおるさんの講演

テーマ：「あした輝く わたしの時代」

講師：玉岡かおるさん（作家）

テーマの「いきいき、あした輝く」ということは何かを見て感動して心を動かし、人の痛みを見て一緒に涙を流せる、そういう人生を送ることだと思います。ただ物体として長寿を誇るだけでは意味がありません。人間として色々なことを体験しながら心を動かしながらいきいきと生きるということが本当の生きる意味になるんじゃないでしょうか。そういう意味でも皆さんが皆さんの感受性をさびつかせることなく、濁らせることなくあるには、いつもどこかで心を揺らしてほしい、何かに感動してほしい、そして何かに一緒に涙を流したり喜んだりするような人間であってほしい。いきいきと明日輝いていただくためにはまず心を動かしていただきたいと思います。



### ミニジャズコンサート

那賀高校1年生の中島朱葉さんに、ディズニーの「ホールニューワールド」をはじめ3曲を演奏していただきました。即興でジャズの名曲「A列車で行こう」も披露してくださり、会場は大盛り上がりでした



### 女性のチャレンジー坪ショップ

今年は押し花と写真とメッセージをレイアウトして、『世界に一つだけのカード』を作るスペースを出展していただきました。たくさんの方にお越し頂き、とてもにぎわいました。



### 観客席の様子

観客席はほぼ満席で、立ち見が出るほどでした。

今年は、ブースへの来場者も含めて合計485名のみなさまにお越しいただきました。

りいぶるフェスタ  
開催し

日時：11月15日  
場所：和歌山ビ

## 男女共同参画いきいき大賞

県内で積極的に男女共同参画を推進している個人・団体に贈られる賞です。  
今年度は個人3名、団体3グループが受賞されました。

### 【ベストパーソン賞】



朝井 郁子さん(海南市)

平成13年から3年間、和歌山県男女共同参画推進員として活躍。現在は、海南市男女共同参画推進の会会長をはじめ、行政相談員や海南国際交流ボランティアなどの多岐にわたる活動を通じて、男女間の差別意識や男女不平等な慣行・慣習の是正に努めている点が高く評価されました。



岩本 恵子さん(写真は代理出席の前田さん)(日高郡みなべ町)

梅を通じて地域の発展に貢献し、さらに経営者として、就業の分野における女性の登用をいち早く取り入れ、女性の積極的な参画による自社の経営改善とオリジナルブランドの開発につなげるなど、男女共同参画の視点を持った経営と女性のロールモデルとして活躍している点が高く評価されました。



松本 千賀子さん(西牟婁郡白浜町)

平成17年にNPO法人com子育て環境デザインルームを設立。地域での子育てを推進するため、子育てスペース「そらまめhouse」をオープン。さらに病児等を地域の家庭で子どもを預かる緊急サポートネットワークを行うなど子育てと仕事の両立を支援している点が高く評価されました。

### 【ベストグループ賞】



I T O - W I N N (代表:宮本良一さん)(伊都郡かつらぎ町)

伊都地方で初めて組織された男女共同参画グループ。地域等での様々なイベントにおいて、男女共同参画に関するパネル展示やパンフレット作成など、地域に密着した男女共同参画の啓発活動に積極的に取り組んでいる点が高く評価されました。



ウィメンスタディズ熊野(代表:村上恵美子さん)(新宮市)

和歌山県主催「DV被害者ボランティア養成講座」の修了生を中心に設立された団体。女性の生き方を考える講座や研修会の開催や無料電話相談の実施など、女性の視点に立った活動を展開している点が高く評価されました。



特定非営利活動法人子育て・あそびサポートぱお(海南市)

(理事長:張間広子さん、写真は事務局長の家本さん)

海南市と協働し、海南市ファミリーサポートセンターを設立。学童保育の委託事業を受託し、“地域で子育て”を展開している。また平成18年にはコミュニティレストラン「シュフ・シェフ」を立ち上げるなど男女共同参画の視点を取り入れたまちづくりを展開している点が高く評価されました。



エスタ2008き  
ました

日(土)  
ビッグホエール

働きはじめる  
準備をしよう!

## 再就職準備セミナー

10月7日・10月21日・10月28日  
(共催) 財団法人21世紀職業財団和歌山事務所

「育児等で一度離職したけれども、もう一度働きたい！」  
と考えている方を対象に、再就職に必要な知識や、さまざまな働き方について知っていただくためのセミナーを開催しました。ビジスマナーのおさらいや、仕事に欠かせないコミュニケーション能力を身につけることなどを学びました。

おさえおきたい! ビジスマナー (講師: 山田直子さん)  
コミュニケーション能力を磨こう (講師: 津山理美さん)  
好きな仕事の見つけ方 (講師: 山本裕美さん)



最終日には、県内の3企業とハローワーク和歌山の担当者との面談会も開催し、交流の場を設けました。参加者の方々からは「働いている時は当たり前できていたことが、ずいぶんできなくなっているなぁと思いました」や「ロールプレイングがあったので、今後の再就職に活かせる内容で良かった」など、これからの再就職に向けてヒントが見つかったという感想をたくさんいただきました。

“りいぶる”では、再就職や起業などにチャレンジしてみたいけれど何から始めたらいいのかわからない、という方をサポートする「チャレンジカフェ」を実施し、「女性のためのチャレンジ相談」も行っています。

詳しくは(TEL)073-435-5245 までお問い合わせください。

## りいぶるわいわいサロン

「川合小梅の魅力 ~幕末から明治維新を生きた女性~」



9月27日、小梅日記を楽しむ会会長の辻健さんをお迎えし、川合小梅の魅力についてお話をいただきました。

川合小梅は1804年、紀州藩校の学者の娘として和歌山市に生まれました。16歳ごろから日記をつけ始め、86歳で亡くなるまで書き続けました。日記

からは当時の生活が偲ばれ、歴史的にも貴重な資料となっています。才知に富み、粋にはまらない小梅の生き方は、現代でも学ぶべきものがあります。地元和歌山に、このような偉大な女性がいたことを改めて知る機会となりました。



「考えよう!語り合おう!子どもの食育」



10月23日、和歌山信愛女子短期大学准教授の藤澤祥子さんをお迎えし、子どもの食育をテーマにお話いただきました。藤澤さんのお話は、実践的かつ豊富な内容で和歌山の食材を使用するおすすめレシピの紹介もあり、参加者のみなさんは熱心に聞き入っていました。

交流会では子育て中の参加者ならではの悩みや疑問が多数出され、藤澤さんの軽妙なアドバイスもあって、和やかな雰囲気ではすすみしました。参加者のみなさんから「食育だけでなく、子育て全体を考えるよい機会となりました」「きちんと食べさせるコツがわかってよかったです」といった感想が寄せられました。



## 地域のおと「かからの会」(北山村) 地域で活躍するグループなどをご紹介します



「かからの会」のみなさん

「かから」とは方言で「お母さんたち」のことです。「かからの会」代表の久保岡徳美さんにお話を伺いました。

今から4年程前、筏下りで有名な北山村では、シーズンオフの地域活性化事業を模索していました。久保岡さんらも、何かできることはないかと、郷土料理をつくり試食会を催しました。その時、たまたま出席していた「きのくに活性化センター」の鈴木さん(和歌山大学准教授)



との出会いにより、「ぜひ事業化を」と話は進みました。最初は「自分たちの料理でお客さんからお金が貰えるのか」と心配していました。が、農家レストランを見学したり、都市から女性を招いて料理を評価してもらったりと、

色々な努力を重ねていくうちに次第に自信がついていったといいます。2006年、いよいよ郷土料理レストラ



ン「かからの店」が立ち上がりました。自家製みそ・こんにゃく、山で採った山菜...すべて自分たちの手作りで。お客さんの言葉が何よりの励みになっています。課題はPR。様々な人の手助けを受けながら地道に努力しているとのこと。今後は、若い人にこの店を受け継いでいって欲しいと夢を語られました。

### かからの店

道の駅 おくところ公園「やまなみ」内  
TEL 0735-49-2250(店) 0735-49-2320(久保岡)  
営業時間：10月～4月 予約制



## 青少年・男女共同参画課いんぷおめーしょん

ストップDVセミナー「心つなぎあう家族のために」を開催しました。



11月17日(月) 講師：藤木美奈子さん(WANA関西代表)

藤木さんは、自身の体験の中から、DVなど暴力の問題は、男性も女性も関係なく取り組んで行かなくてはならないと、お話しされました。そして、家族が心つなぎあうための2つのポイントを教えていただきました。

1つめは、家族とは単に血がつながっているというだけでなく、同じ町の人、友達もというふうに家族というものの定義を広げて、どんな人達とも仲良く暮らしていける社会にしていくこと、それから、2つめは、血縁関係のある家族の中で、家族だからといって甘えすぎない、それぞれが精神的に自立することです。

そして、たくさんの困難、試練を抱えて生きておられる方がいます。たくさんの試練があったことが不幸だと思わず、試練は人を成熟させ成長させると、前向きに考えたとき、どんな人生もいいものだと思いますと結ばれました。

11月12日～11月25日は、身近な暴力を許さない社会の実現を目指して、全国的に様々な取組が展開される「女性に対する暴力をなくす運動期間」です。

### 男女共同参画推進事業者新規登録！

	会社名	所在地	業種
第30号	大洋工業株式会社	和歌山市	電気機械器具製造業
第31号	社会福祉法人 紀友会	那智勝浦町	社会福祉事業
第32号	共栄電設株式会社	和歌山市	建設業
第33号	医療法人八紀会 老人保健施設みさき	新宮市	社会福祉事業
第34号	社会福祉法人 紀新会	新宮市	社会福祉事業
第35号	有限会社グループホーム開門荘	新宮市	老人福祉介護事業



## 講座案内

講座名	開催日	開催日時	場所
企画提案事業 「生命(いのち)の性教育講演会」	1月16日	10:30～12:30	“りいぶる” 研修室
ハッピー経済学セミナー 「その道のプロに聞く！やりくり上手な自分になるう」	1月29日	13:30～15:30	岩出市総合保健福祉センター視聴覚室
りいぶるシアター 「女盗賊ブルーラン」「インドの男女共同参画を考える編」	1月31日	13:30～16:30	“りいぶる” 研修室
起業はじめの一步 「これだけは知っておきたい基礎知識」	2月7日	13:30～15:30	“りいぶる” 研修室
企画提案事業 あなたはデートDVを知っていますか	2月15日	13:30～15:30	岩出市桜台公民館
移動りいぶるin有田 チャレンジカフェ チャレンジ相談 相談員：ファイナンシャルプランナー山本桂子さん りいぶるシアター 「いつか読書する日」	2月17日	13:00～16:00 14:00～16:00 13:30～16:30	湯浅町総合センター
“りいぶる” 語り合い広場 「更年期—こころと体の健康力」	3月14日	14:00～15:30	“りいぶる” 研修室

申し込みは、りいぶるまで。TEL 073-435-5245

## “りいぶる” 相談室から ～あなたはあなたのままで～

りいぶるでは女性の様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きられるようサポートしています。  
まずはどんなことでもお電話ください。

**相談専用電話 073-435-5246**

### 総合相談

毎週月～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]  
[電話相談] 9:00～20:30

### 女性のためのカウンセリング

毎月第1～3金曜日 13:00～16:40 [要予約]

### 女性のための法律相談

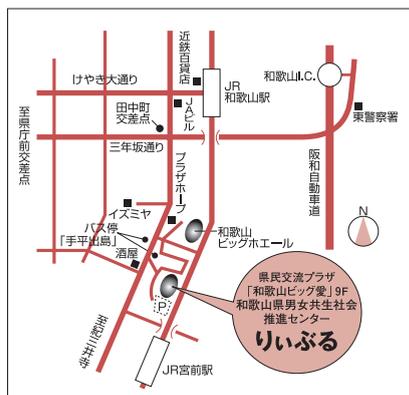
月3回 13:00～16:10 [要予約]

## ●●●● スタートアップ・オフィス入居者募集！ ●●●●

県では、チャレンジ精神あふれる起業家を対象としたスタートアップ・オフィスへの入居者を募集しています。低廉なオフィス使用料、インターネット回線接続無料などたくさんのメリットがあります。

募集オフィス 和歌山県経済センター 和歌山リサーチラボ 県立情報交流センタービッグ・ユー  
橋本ビジネスラボ 新宮市SOHOセンター

詳細は県庁産業振興課 (TEL 073-441-2760) まで



### ■企画・発行

和歌山県男女共生社会推進センター  
**りいぶる**

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

開館時間 午前9時～午後8時30分

休館日 毎週日曜日・国民の休日(祝日)・年末年始(12月29日～1月3日)

“りいぶる”では皆さまのご意見、情報をお待ちしています。[メールアドレス] e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで

